

(資料 1-6)

伊豆の国市商工会経営発達支援事業実施報告書【P計画、D実行、C評価、A改善】
計画期間 平成27年4月1日～平成30年3月31日（3ヶ年間）

・5段階評価（基準 定量達成3）

・事務局の評価と課題（定性）・事務局の改善

I、本会の取り組み内容(29年度)

①事業計画策定セミナー実施⇒経営力向上・補助金等の情報提供・活用 (全体セミナー・個別相談会)

- ・実行 3回開催 平成29年4月、5月、30年1月
- ・評価 **5 事業継続** 持続化補助金採択29年26件、経営力向上補助金9件
商工会東部地区上位
参加者多数、強みの認識、職員OJTと伴走支援
- ・改善 30年度も継続実施。折込実施で非会員参加も増えたが、より参加を、事業承継実態調査結果を踏まえ、具体的個社に対して支援、アプローチしていく。

②創業支援事業⇒創業塾セミナーの開催

- ・実行 平成29年8.9月開催（集団セミナー・個別相談会）
伊豆の国市創業支援計画と連動し開催。市の施策と連携したため、より広く、深い支援が行えた。（市創業補助金等の利用）
静岡県よろず支援拠点、日本政策金融公庫、県連合会と連携協力
23名参加
- ・評価 **5 事業継続** 好評 4支援機関の連携
- ・改善 1.事業承継も含めた中での市等との連携したワンストップサポートの充実。
2.創業事例紹介、名刺交換会を通じて参加者同士のネットワーク構築。

③ブランド認定事業⇒営業力向上支援

- ・実行 第7次認定9事業所19品目追加 合計68事業所、170品目
- ・評価 **5 事業継続** 引き続き継続
1.ブランドギフトセットを実施。自分選択自由119セット販売
2.ブランドの会として、静岡伊勢丹デパ地下催事参加継続推進。
3.伊豆の国バルを開催 85事業所参加 チケット1135セット販売（前売3,500円） 飲食のブランド化を着手。
- ・改善 1.伊豆の国バルを含め、ふるさと博覧会、静岡DCとの協同。

2.29 年度未着手の催事等出展者の 30 年度はブランドの会組織化と自立化へ

④アンテナショップ事業⇒販売力向上・販路拡大

- ・実行 4月～現在「まごころ市場」「道の駅」「蔵屋鳴沢」で実施。
- ・評価 **3 事業継続** BtoB 評価あり 市 30 年度ブランドとして予算付 28 年 9 月より「道の駅運営会議」に参画
(市・観光協会・まごころ市場、時之栖、村の駅、商工会)
- ・改善 30 年度 4 月より新装「道の駅」開店。運営会議でより総力化

⑤ビジネスマッチング開催及び参加⇒販路拡大、情報収集（業者・消費者）
(食彩トレイドフェア他) 県連販路開拓支援事業への参加⇒販路拡大

- ・実行 ビジネスマッチング 11 件、食彩トレイド 14 件、県連販路 6 件
- ・評価 **5 事業継続** 好評 巡回等で新規事業所の開拓、掘り起しの推進 専門家派遣を含めた、事後支援の伴走支援の強化 前回課題の出展料の補助実施で改善。
- ・改善 30 年度も継続。巡回の強化し掘り起し。市と連携して 6 次化の推進、個社支援を行う。

⑥伊豆の国市商工会産業振興祭⇒マッチング・販路拡大（ブランド認定商品・経営革新事業所）

- ・実行 平成 29 年 10 月 29 日予定が、当日台風の為中止。
- ・評価 **4 事業継続** 市民等来場者多数 市好評価、30 度予算付
- ・改善 経営革新を含めた、参加企業の増加とイベントの複合化

⑦定住促進事業⇒住環境改善（住宅新築リフォーム助成・建築無料相談）

- ・実行 1.平成 29 年 4 月～3 月
住宅—98 件（新築 15 件、リフォーム 83 件）
経済効果 施工 3 億 7 千万円、商品券 1 千 9 百万円
店舗—35 件（2 回目申請 8 件）経済効果 施工 3 億円
2.建築無料相談会（12 回）
- ・評価 **4 事業継続** 好評 市好評価、30 度予算付
- ・改善 無料相談会の企画の深層化 効果化 創業、新規開業の支援

⑧定住促進事業⇒住環境改善と販路開拓支援（高齢者生活支援事業）

- ・実行 平成 29 年 4 月～3 月/検討会、パイロット事業、報告会の開催

- ・評価 **5 事業継続** 「紙おむつパイロット事業」、「ご用聞きサービス事業」を実施。
- ・改善 30 年度継続。高齢者生活支援事業の組織化と事業化

⑨雇用創出支援⇒伊豆総合高校との連携

(情報交換会の開催・インターンシップ・文化祭への参画)

- ・実行 平成 29 年 8 月情報交換会、6 月湧郷祭企業出展
伊豆市・伊豆の国市、ハローワーク三島と連携し、29 年 10 月
アクシスかつらぎにて合同就職説明会を開催
市内 18 事業所、80 名の参加者
- ・評価 **5 事業継続** 好評
- ・改善 就職説明会等を 30 年度も継続。

⑩伊豆の国市産業経済懇話会への参加⇒行政・他経済関連団体及び事業所
(産経懇)との意見交換、情報交換、課題の検討

- ・実行 平成 29 年は 0 回。
- ・評価 **2 事業継続**
- ・改善 第 2 期発達計画に中にも記載。経産省の発達計画の中での評価基準は「有る」が絶対。30 年度も継続、開催を市へお願い。

II、事務局の取り組み(29 年度)

⑫景気動向調査⇒全国連・県連・各事業のアンケート

- ・実行 各月実行、定例会、月例会、巡回、経営計画作成に利用
- ・評価 **4 事業継続**
- ・改善 課題一リアルタイムでの揭示、30 年度も継続

⑬経営指導員・職員による巡回⇒課題の抽出、情報収集、ニーズの把握

- ・実行 各月実行、定例会、月例会、巡回、経営計画作成に利用。
- ・評価 **4 事業継続** 好評 各職員の巡回の強化。課題の巡回回数が改善された。課題一より巡回件数の伸び
- ・改善 30 年度も継続 事業承継実態調査の具体的施工の実施。
30 年は市と連携して創業と事業承継支援を実施予定。

⑭連絡会の開催⇒課題・情報・ニーズに対する共有、分析及び対応協議

(毎週 1 回⇒事務局長・担当係長・経営指導員参画)

- ・実行 定例会、月例会、経営指導員で情報共有、経営計画作成、経営

革新指導等に利用

- ・ 評価 **5 事業継続** 好評 時間の効率化、短縮
各自の事業の棚卸と進捗管理の共有
- ・ 改善 30 年度も継続

⑮ 地域金融機関との情報交換⇒市内景気動向、課題の抽出、情報収集の共有、ニーズの把握及び対応協議

(毎月 1 回⇒広域支援担当係長、各支所経営指導員と金融機関営業担当役席)

- ・ 実行 各支店で開催。情報共有。経営革新事例の掘り起し
- ・ 評価 **4 事業継続** 好評 経営革新実績 5 件達成
課題一実施回数の減少、月例日時調整の難しさ。
- ・ 改善 会議日時定例化の検討 30 年度も継続。

⑯ 観光・商工関係者打ち合わせ会への参加⇒観光商工に係る課題・施策の検討及び情報共有

- ・ 実行 月 1 回開催 情報共有と施策の徹底
観光課、市農業商工課
- ・ 評価 **5 事業継続** 好評 商工会の事業を理解頂き、施策等へ繁栄
面的支援強化（市創業支援計画の策定、市就職相談会の実施、
静岡県よろず支援拠点伊豆の国市サテライトの運営）
- ・ 改善 30 年度も継続

⑰ 経営指導員・職員資質向上⇒県・県連・経済諸団体及び地域金融機関主催セミナーへの参加、定例会の開催

- ・ 実行 5 回 12 人区実施。
- ・ 評価 **5 継続実施** 好評 研修会への積極的参加と OJT の組合せ。
事業団短期研修会への参加とその他連携機関の研修
- ・ 改善 30 年度も継続

Ⅲ、事業の成果・評価(29 年度)

⑱ 総務委員会、理事会、市商工関係部署、中小企業診断士

- ・ 実行 理事会 5 回、随時報告、11 月 3 月外部招聘検証会を実施
- ・ 評価 **5 継続実施** 好評 定量的、定性的評価
市部長・課長・係長の参加。29 年 11 月中間評価の検証
- ・ 改善 30 年度第 2 期伊豆の国市経営発達支援計画を市と連携して実施
していく。最強化支援一創業・事業承継

第2期経営発達支援計画の添付書類（申請書の概要） 経営発達支援計画の概要

実施者名	伊豆の国市商工会（法人番号 1080105001950）
実施期間	平成30年4月1日～平成35年3月31日
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第1次（前回）の経営発達支援計画を継続し、地域の現状、課題、伊豆の国市総合計画を踏まえ、県、市、地域金融機関、その他支援機関と連携し、創業や事業承継を含め、特に行政と連携した支援体制を構築（見える化、ワンストップ化）し、小規模事業者の支援を実施する。 2. 個社の事業計画の策定（創業・第2創業、事業承継も含め）、経営力向上、販売促進等を継続的に実施支援する。 3. 観光産業の振興による交流消費と雇用の拡大、定住促進・高齢者生活支援、商店街等の活性化を行うことにより、地域経済の活性化を図る。
事業内容	<p><u>I 経営発達支援事業</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の経済動向調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 地区内景気動向調査と経済動向統計資料等の収集、職員間の情報共有と分析。行政、金融機関等支援団体との連携 2. 経営状況の分析 <ul style="list-style-type: none"> ・ 経営、財務分析等を行い、課題抽出し、見える化し、支援方針の決定 3. 事業計画策定支援、事業計画策定後のフォローアップ支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 小規模事業者の持続的発展に向けた経営計画の策定、伴走型の支援を実施。（伊豆の国市の創業基本計画と連携した創業支援、県事業引継ぎ支援センターや県よろず支援拠点と連携した事業承継支援も） ・ Step型支援体制の構築とワンストップ連携での個社への事業計画策定支援（Step1巡回等での啓発と掘り起し、Step2事業計画の作成、Step3事業拡大、連携体制の構築） ・ 創業、第二創業（経営革新）のための創業塾開催、専門家派遣と巡回によるフォローアップ等伴走型支援の実施。 4. 需要動向調査 <ul style="list-style-type: none"> ・ 商談会等にてバイヤー調査、消費者ニーズ調査を実施 5. 小規模事業者の新たな販路拡大支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「伊豆の国ブランド事業」、「伊豆の国市商工会産業振興祭」、「IZU食彩トレイドフェア」「高齢者生活支援事業」「ECサイト」等による販路開拓、県連「販路支援事業」、金融機関「ビジネスマッチング」出展。 <p><u>II 地域経済の活性化に資する取り組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 行政、観光協会等の市内各種経済団体及び地域金融機関で構成する「伊豆の国市産業経済懇話会」に参画、地域経済活性化についての課題と検討、及び情報共有により連携を強化していく等。以上。

